

NO! リニア

No. 8 3
2014年 9月17日
JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

原発、リニア、辺野古基地は、 3大迷惑プロジェクト！ 日刊ゲンダイ

9月11日付の日刊『ゲンダイ』「永田町の裏を読む」欄に、「安倍政権が着手する3大迷惑プロジェクト」と題した記事が掲載されました。3大迷惑プロジェクトの1つ、リニア中央新幹線に焦点を当て、採算性・安全性の問題、環境の問題を指摘しています。

内容は、①リニアの最大の競合相手は東海道新幹線であり、山田前社長の「リニアはペイしない」見解で、採算は取れるのか？9兆円もの費用をかけるくらいなら、新幹線料金を値下げすべき、②大井川水系の異常、生態系の変化は予想がつかない、③活断層を横断する危険性がある、などです。そして、「東京電力の二の舞になるのではないかと」締めくくっています。

他労組組合員の皆さん、これだけ多くのマスコミが警告している中、リニア建設を進めようとしている企業にいて、チェック機能とは何かをしっかりと考えるべきです。リニアで失敗した後、「私は本心ではリニアに賛成していなかった」などという言い訳は通用しません。JR東海労と共に、リニア建設に反対しようではありませんか。

(9) 第3種郵便物認可 2014年(平成26年)9月11日(10日)

永田町の裏を読む

連載 66

ジャーナリスト 高野孟

原発再稼働、辺野古基地建設、そしてリニア新幹線。着工は似たもの同士の3兄弟で、いずれも、国民の多くが「今どきそんなものが必要なのか」と疑念を抱き、周辺住民は「本当に大丈夫なのか」と不安に怯え、反対の声をあげている。にもかかわらず、そうした疑念で不安を醸成するようには、安倍政権がこの秋に本格的に着手しようとしている3大迷惑プロジェクトである。その中でもほとんどマスコミでも取り上げられないまま、10月にもスルスルと着工されようとしているのがリニア新幹線だ。ある民主党議員が言う。

「自民党だけでなく、我が党にも推進議員連盟があった。当然ながらルート沿線に選挙区がある先生方はみな賛成。おまけに、9兆円を超える事業費は、JR東海が全額負担するのだから、これは民間の事業だということだ。国会でも議論されない。しかし、全国新幹線鉄道整備法に基づいて基本計画や整備計画を、決定し、工事実施計画を、認可し、営業主体・建設主体を、指名するのは国土交通大臣ですから、原発と同じ、国策民営、なんです。」

「44年生まれ、フンサイター」「THE YOU RNAL」などを主宰。「沖縄に海兵隊はいらない」「ほか者多数」。

「そもそも、スモール＆スロがユーティフルとされる時代に、東京の名古屋間を40分で飛ばすように移動しなければならぬ人がどれだけいるか。いたとしても、最大の競合相手は東海道新幹線だから、その東海道新幹線の儲けでリニアを造ろうという構想は最初から無理がある。昨年9月に「リニアだけは絶対にペイしない」とJR東海の山田佳臣社長(当時)が告白したのは本音で、それならリニアなぞもめて東海道新幹線を大幅増設して、それによはど世の中のためになる。加えて、全体の86%が地下や山岳のトンネルで、それによる環境破壊、とりわけ地下水系の異常による大井川は、すでに多数の河川の生態変化は予想がつかない。中央構造線・糸魚川静岡構造線を横切った時にどのような活断層に出くわすかも分からない。不安要素があまりにも多すぎる。それでも、一度掘り始めたら、もう止められない。リニアは、一度掘り始めたら、もう止められない。リニアは、一度掘り始めたら、もう止められない。」

「水増し掲載」

安倍政権が着手する3大迷惑プロジェクト